



# いつも にこにこ 笑顔がいいねっ!!!

## 相・福 いきいき 便り

2021

1月

No. 80

### 12月生まれの生き生きさん

## お誕生日おめでとうございます!



【お名前】  
松下 ふゆ さん

【生年月日】  
昭和4年12月10日  
91歳

【お住まい】  
波津

【一言】  
●ここまで通うのはこの頃大変になりましたが、楽しみにしています。



【お名前】  
澤田 玲子 さん

【生年月日】  
昭和11年12月18日  
84歳

【お住まい】  
相良

【一言】  
●月2回の生き生きが楽しみです。これからもよろしくお願いします。

### 松下ふゆさんが生まれた昭和4年12月とは・・・

#### ●昭和恐慌前夜

この2ヶ月前の10月24日アメリカのニューヨーク証券市場で起こった株の大暴落（暗黒の木曜日）に端を発した不況は日本においても翌年の春からの商品市場、株式市場の大暴落、倒産件数の激増と続いて行きました。

#### ●震災復興

12月15日 関東大震災で一部倒壊したニコライ堂が復興し成聖式が行われます。また、この月震災復興事業の一環として、築地の築地川に三又の三吉橋が完成します。現在の中央区役所の交差点にこの橋がありますが、大正昭和初期の頃は、荷舟や屋形船が行きかう情緒ある場所だったようです。



左 一部崩壊したニコライ堂  
特徴的なドームが有りません



三吉橋の今昔

# 相・福 生き生きクラブ 会員募集



- \*相・福生き生きクラブでは新規加入の会員を募集しております。
- \*自粛生活が続く社会環境にあっても積極的に地域の友人たちと交流したり、支えあうことで、活発で生き生きとした毎日を送ることが出来れば、認知予防やうつ予防にもつながるはずです。多くの皆様のご参加をお待ちしております。
- \*ご質問、あるいは入会希望の方は、お気軽に民生委員、またはお近くの区会議員へお尋ね下さい。



# 令和2年度の活動記録(12月)



## 第13回(12月14日)◎お正月用の色紙を作りました

### ◎切ったり 貼ったり 考えたり

参加者数  
対象者：19名  
協力員：18名

●今日はもうすぐ来るお正月に飾る色紙をみんなで作りました。皆さんに選んでもらったデザイン画を丁寧に切り抜いて、色紙上の配置を決めてから糊で貼り付けたら出来上がり！・・と口で言えば簡単ですが、なかなかどうして、これが難しい。でも、皆さん良くガンバリましたね。



準備運動はすこやかエブリデー



さあ、始めましょう



まづ絵を切り抜いて



文字も欲しいよね



配置はどうしよう？



糊で貼った5完成！

謹賀新年



コロナに勝つぞ！！

◎本日のおやつ



クッキー

参加者数  
対象者：19名  
協力員：16名

## 第14回(12月21日)◎クリスマス会

ジングルベル ジングルベル すずがなるー  
♪ミ、ミ、ミ ミ、ミ、ミ ミ・ソ・ドーレ・ミー



いつもの「すこやかエブリデー」



ハンドベルは難しかったかな？

自分の順番 間違えないようにしないとね



合唱は きよしこの夜

月きーよしーこーのよるーほーしはー・・・



キャンドルに火を灯します

♪「富士山」はベルと手話の両方で出来ました

本日のおやつ



(クリスマス) カップケーキ

●今回はクリスマス会を楽しみました。  
ハンドベル演奏で「ジングルベル」「キラキラ星」「富士山」「たきび」また、「富士山」は手話合唱も出来ました。  
●キャンドルが灯るなかで唄う「きよしこの夜」もなかなか良いものでした。ケーキもおいしかったですね。  
●今回で令和2年の「生き生き」は最後になりました。来年こそ疫病禍も終焉して楽しく良い年になることを祈ります。





かんぶり

# 寒鰯

季節が  
育てる  
寒ブリ。



## ●寒中に美味しいもの

いよいよ寒さが身にしみる季節となりました。今年は1月5日が寒の入りで節分が2月3日ですので、その間30日がいわゆる「寒中」となります。

冬場は海水温も下がっていろいろな海産物が美味しくなる季節ですが、やっぱり冬の魚と言えば「ぶり」。特に北陸の寒ブリは日本海の荒波にもまれて身がしまっている上によく肥えているので脂も乗っていて本当に美味しいですよ～。

## ●富山湾の寒ブリ



ブリの回遊コース

寒ブリとは、その名のとおり寒の時期に捕れるブリのこと。

寒ブリ漁が活気づくのは、北陸地方特有の風雪を伴う雷「ブリ起こし」が鳴り始める11月下旬頃から翌年2月頃までが「寒ぶり」の旬とされています。

ぶりは一般的に九州北部で孵化して成長しながら北海道まで北上し、冬場にかけて再び南下するのだそうですが、水温が急激に下がって波もきつくなる「寒」の時期あたりに新潟県佐渡島から富山湾近郊に戻ってくるのだそうです。

## ●富山湾の秘密

富山湾は立山連峰をはじめとする豊かな自然に囲まれ「天然のいけす」と呼ばれることもあるようにプランクトンも豊富で魚にとっては最高のエサ場です。

日本海の厳しい荒波と低い海水温でしっかりと身がしまり脂質を蓄えたぶりが、波が比較的穏やかで栄養も豊富な富山湾内に入ってくるとより一層食欲も増し、極上の身質と脂ノリになっていくのでしょうか。

## 寒鰯と 煮る大根の 厚さかな 加藤浩子

### 年頭に思った

相・福生き生きクラブ会長 阿部一博



生き生きクラブのみなさん、明けましておめでとうございます。

今年の干支は、丑ですね。のんびり参りましょうか？

さて、私にとって、71回目の一年が始まった。1950年7月23日、おぎゃーと生まれ保育園で鬼ごっこ、相小入学、5年生の誕生日に木から落ちた、ちんちんに毛が生えた、初恋。相中生、少し大人になった、ブラジャーの線が気になり引っ張った、怒られた、高校受験、よく頑張った、よく遊んだ、3年生になった、進学か就職かどうでも良かった。

相良の役場に就職、仕事もした、酒も飲んだ、奥さんももらった、子育てをした覚えがない、奥さんに悪いことをした。

60歳定年後のんびり過ごした、孫はかわいい、何でも許せる。

そして70歳。毎朝、海に散歩、テレビを見てグランドゴルフ、夕方おいしいお酒をほんの少し？飲む。そんな生活をさせてもらっている。

今年も相良海岸で初日の出、大和神社の歳旦祭から一年が始まった、出来たら80歳まで元気に生きようと考えた。奥さんには、感謝しかない、ありがとう。







# 相良でんぞら史話 第二十九回

大澤寺十五代住職 今井一光

## 《 蕉園渉筆その二十二 》

蕉園渉筆本文 20

川崎名 (かわさきのな)



葛飾北斎富嶽三十六景  
大井川 川越図



川崎付近より大井川方面を望む

### 原文

川崎街 在大堰河西六里  
八十年前 河流此地  
故 有川崎之名云

### 読み下し

川崎街は 大堰河の西六里に在り  
八十年前に 河が此地を流れる  
故に川崎之名が有ると云う  
(大堰河・大井川)

### てきとう現代文 訳

川崎の街は 大井川の西六里に在って、八十年前には 川がここを流れていたと言う。

だから、「川崎」の名が有るといふ。

(六里は今の単位ですと約24km・・・チョッとオーバーな数字かな?)

さて、久しぶりの蕉園渉筆本文であります。

お話は相良の代官小島蕉園の管轄地の一つ「川崎」について。

今回は大堰河(大井川)が登場しています。ただし今回の蕉園の聞いた話はちょっと首を傾げます。

大井川が大昔からその流れを広域に渡って流れを変えてきたことは確かですが蕉園が相良に来たのが文政六年(1823)。その80年前といえますから1743年。まあ聞き間違いでしょう。

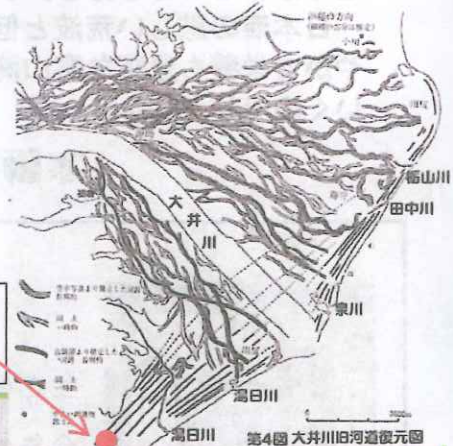
よって私が思うのは勝間田川の川崎。こういった小中の河川なら人工的付け替え含めて流れを変えることはしばしばあります。

ただし地名の発祥といえは勝間田氏が思い浮かびます。

勝間田氏は時宗に帰依して今も勝間田川の西にある道場の清浄寺がその菩提寺としてありますが、その本山清浄光寺(遊行寺)のある相模の国の藤沢周辺の地名を付けたといえますね。

神奈川県内の地名が今も周辺に残っています。藤沢・大磯・戸塚川崎などです。(今井)

図は鎌倉時代の復元地図  
このあたりが川崎



### 「カワサキ」

全国に「カワサキ」という地名は80ヶ所(大字以上)存在しますが、その大多数は「川前/川に面した場所」という意味であり、「前=サキ」という古い表記がやがて「川崎」となっていくたもの。あるいは地形からついた地名で、「崎」は扇状地又は、デルタ(三角州)を指しているのだそう。

大きな川の河口で上流から流されてきた土砂が溜まってできた扇状地やデルタは、海からの砂も溜まって海に張り出した形になることが多く、こうした地形は古来「崎」と呼ばれたそうです。

では、旧榛原町の「カワサキ」の地名の由来は勝間田川の川前からなのか?それとも大井川の大扇状地を望む地理的要因からなのか?どなたかご存知でしたら教えて頂きたいものです。

### これからの いきいき予定

- 1月25日: ダーツを楽しもう
- 2月 8日: 昔の遊びで楽しもう
- 2月22日: ボーリングを楽しもう



(尚、今後の社会状況によっては上記予定の変更もあります)

皆様のご意見や思い出話を  
お待ちしております

相・福 いきいきだより

笑顔がいいわ!!!

2021年 1月18日号

(通算第80号)

発行

相良・福岡 生き生きクラブ